

- ◆企画名 KU コアラ 春の古本まつり
日 程 2025年6月23日(月)～2025年6月27日(金)
場 所 凜風館1階ピアエリア
参加者数 21名(ピア・サポータ3名、研修生0名、一般学生18名)
目 的

学内で本に触れる機会を増やすことで読書活動を促進し、興味を持ってもらう。また、古本の交換を通して関大生の交流を図ると同時に、KU コアラの知名度も向上させる。

内 容

参加者に本を持ち寄ってもらう。また、参加者だけではなく KU コアラでも本を持ち寄る。本の持ち込みの有無にかかわらず、本の持ち帰りは可能とする。古本を持ち込んだ参加者には、ピアエリアで本のおすすめポイントなどを紹介するメッセージカードを作成してもらい古本に挟み込む。メッセージカードが挟まれた古本を新たな持ち主が受け取ることで、文面上の交流を図る。KU コアラメンバーが持参した本も、同様にメッセージを記載する。

効 果

本イベントを実施することで、KU コアラメンバー・イベント参加者共に、新しい本と出会う機会を作ることができた。また、古本に挟んだメッセージカードを通して、関大生同士の交流を図ることができた。

月・水・金曜日すべての日時で参加者がおり、たくさんの人に参加してもらえた。また、参加者のほとんどが古本を手に取り持ち帰っていて、読書活動の促進の目的を果たすことができた。

会場内に置いていたピア・コミュニティの紹介ミニブックを見てくれる人がいたので、KU コアラの知名度向上にもつながったと考えられる。

改 善 点

- ・10時40分頃からスタンバイしていたが、11時頃までは参加者がほとんどいなかった。
→開始時間はもう少し遅くすることを検討する。
- ・事前準備にもう少し早めにとりかかる。
- ・KU コアラ内での運営方法の共有が不十分で、少し戸惑う場面があった。
→少なくとも企画日の前日までにはKU コアラ内で共有しておく。
- ・広報期間が短かったことも影響してか、はじめの二日間は事前に情報を知っていて古本を持ってきてくれた学生は少なかった。
→広報期間を延ばして事前にしっかりと広報するとともに、事前に情報を知らなかった学生も注目して参加してくれるように、もう少し目立つ設営をする。
- ・資料作成(メッセージカード、葉)が当日になってしまった。
→前日にピアエリアに集まるなどして、早めに用意しておく。また、メッセージカードのライト版が途中で足りなくなったので、多めに準備しておく。
- ・当番担当のメンバーが3限の授業に余裕を持って向かえるように、必要に応じて終了時間を再検討する。

感 想

- ・たまたまフラッと立ち寄ってくれた学生もいたので、雰囲気作りは悪くなかったのではないかと思う。
- ・ピア・コミュニティの紹介ミニブックを置いたり、ホワイトボードに KU コアラのキャラクターであるコアぞうを描いたりしていたので、KU コアラの知名度は向上したのではないかと思う。
- ・月・水・金曜日と開催日は絞ったが、2時限目と昼休みを使って実施したため、多くの人が訪れてくれたように思う。